



【特集1】
**第5回 JAあさひかわ
農業まつり開催!**

【特集2】永山基幹支所新築オープン!!
待ちわびた人々の熱気で埋まる!
農産物直売所あさび・江丹別そば処總の香

農産加工あれこれ
手作りの“安全・安心”はいかが?

あなたは大丈夫?

巧妙化する、 振り込め詐欺 等に ご注意を!!

手口がますます巧妙化する、
振り込め詐欺や悪質商法。
日ごろから「自分は大丈夫」と思っている、
実際の場面に遭遇すると慌てたり、
冷静な判断や対応ができなくなる
ケースが少なくありません。
トラブルから身を守るためには、
どんな備えが必要かを
考えてみましょう。



振り込め詐欺

振り込め詐欺は、いわゆるオレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺などの総称をいいます。振り込め詐欺の多くは、相手の話や請求内容を事実だと思い込み、慌てて行動することで被害につながっています。また、だれにも相談できなくて1人で判断し、周囲がそのことに気づかないことも被害発生要因として挙げられます。例として息子の借金の肩代わりをしたとか、弁護士や警察官を装って至急示談金を振り込んで欲しい等の要請があります。

未然防止するには...

一度冷静になって事実確認を行うことが肝心です

悪質商法

日中に居ることの多い高齢者を狙った訪問販売やSF(睡眠)商法、マルチ商法などが後を絶ちません。悪質商法では、「今日なら値引きすると言われて」「信頼している〇〇さんから勧められて」「これはいいと△△さんも買ったと聞いて」という具合に、普段なら洋服一枚でも値段や品質をじっくり検討してから買う人が、悪質業者が販売する商品となると、いとも簡単に購入してしまうケースが少なくありません。

未然防止するには...

購入前に自分で商品情報を集めることが肝心です

■資料提供:警察庁 国民生活センター

目次

【特集1】
第5回
JAあさひかわ
農業まつり開催！

1

【特集2】永山基幹支所新築オープン!!
待ちわびた人々の熱気で埋まる!
農産物直売所あさひが
江丹別そば処 穂の

3

明日を担う 5

農産加工あれこれ 6

新採用職員紹介 10

トビックス 11

理事会だより 14

表紙写真/
永山地区 熊林清さんほ場
麦の刈り取り作業風景

特集1

第5回JAあさひかわ
農業まつり開催！

8月20日(日)、JAあさひかわ本所駐車場において、第5回JAあさひかわ農業まつりが開催された。山本組合長による開会挨拶のあと、花火が鳴り、まつりが幕を開けた。毎年好評の青果・花き販売コーナーや青年部による「どん」、米販売コーナー、江丹別そば打ち実演会および江丹別そば販売コーナーなどのJAあさひかわ農産物コーナーは今年も大好評であった。また、新規出店した女性部によるふかしもち・ふかしもち、揚げもちコーナーも

人気を集めていた。その他、女性部によるフリーマーケット、JA F子供免許証コーナー、牛乳消費拡大コーナーなどのお楽しみコーナーも多くの来場者で賑わった。ステージイベントでは雨鈴囃子やもちまき、旭川農業高校による吹奏楽演奏、向日葵による民謡、コーセイファシオによるYOSAKOIの他、山本裕美子歌謡ショー、青年部イケメンコンテストや大抽選会と多彩なイベントが催され、まつりを彩る多くの来場者であふれていた。

▼30度を超える暑さのなか、今年も会場は大盛況！

ふかしもち・
ふかしがぼちゃ

ほくほくのもちとがぼちゃからは、おいしい香りが...

ピエロ

会場のあちこちに楽しいピエロも登場！

ポニー馬車

かわいいポニーは子供たちに大人気！

江丹別そば

江丹別そばのそば打ち実演会は必見です！

旭川農業高校吹奏楽

旭川農業高校吹奏楽部の美しいハーモニーが響き渡る！

米販売コーナー

米販売コーナーではおいしいJAあさひかわ米を販売！

青果・花きコーナー

青果・花きコーナーには、大勢の人だかりができてました！

フリーマーケット

もしかしたら、掘り出し物が見つかるかも...

もちまき

毎年恒例のもちまきでは、会場也大盛り上がり！

雨鈴囃子

伝統芸能である雨鈴囃子。

歌謡ショー

山本裕美子さんの歌謡ショー。素晴らしい美声に驚き！

向日葵

向日葵による民謡演奏にみんな耳を傾けてました。

YOSAKOI

コーセイファシオによる華やかなYOSAKOIの舞に、来場者は目を奪われてました！

イケメンコンテスト

出場者は、みんなイケメンです！

大抽選会

豪華景品にみんなドキドキ！



5年連続全道大会へ JAあさひかわ野球部

7月5日(水)から6日(木)にかけて、鷹栖町営球場で第59回上川管内農協野球大会が開催された。5大会連続優勝を目指すJAあさひかわ野球部は、初戦にJA美瑛を4対0、準決勝でJAたいせつを4対0で下した。続いて、決勝ではJA北びびきを相手に投手戦の末1対0で下し、見事、優勝旗を手にした。

また、7月22日(土)、23日(日)の両日行われた北海道知事杯旭川予選大会でも優勝し、今後は9月上旬に行われる北海道知事杯第6回北海道選抜選手権大会及び第47回全道JA野球大会に出場することになっている。



7月13日(木)、JAあさひかわを含む市内JAと北海道信連などが協力し、旭川市社会福祉協議会に車椅子3台を寄贈した。当日は、山本組合長が代表で贈呈式に出席し目録を手渡した。車椅子の贈呈は、平成13年より毎年行われており、今年は道内に65台が寄贈され、本年度を合わせると道内128市町村に延べ413台を寄贈したことになる。今後とも全道農協が連携し、信頼を得られる金融機関としてサービスの向上に努めるとともに、併せて地域貢献活動を展開していくことを確認し、散会した。



7月29日(土)、30日(日)の両日、道内最大級の太鼓とあんどん行列で有名な「永山屯田まつり」が開催された。当JAも山本組合長を筆頭に役員、青年部、女性部、職員を合わせた総勢300名が参加した。初日は、まつり直前に大雨が降り開催が危ぶまれたが、行列がはじまると同時に雨が止み、



片道4kmという長い道のりに力強い太鼓の音が響き、優雅な踊りが彩った。そして、大型のあんどんを引く威勢の良い掛け声が永山地区に響いていた。翌日は、上川支庁から行列がはじまり、この日だけ時間を延長して営業していた農産物直売所「あさがお」、江丹別そば処「穂の香」前も練り歩いた。



1 オープンを目前にして

2日前に永山金融支所が先行オープン。そして、本日オープンの直売所前では待ちわびた人々が行列を作っていました！



2 テープカット

いよいよ歴史の1ページの幕開け。オープニングセレモニーのテープカットに、荘厳な空気が流れました。

栽培した組合員が、一人ひとり持ち込んだ新鮮な地場野菜にあふれた「朝もぎコーナー」は、やっぱり大人気です。

3 朝もぎコーナー大盛況！



【特集2】永山基幹支所新築オープン!!

待ちわびた人々の熱気で埋まる！ 農産物直売所あさがお・江丹別そば処穂の香

7月26日(水)、予定より建設中の永山基幹支所が新築オープンしました。併設した農産物直売所「あさがお」や江丹別そば処「穂の香」には大勢の来場者が…。その様子をお知らせします！



4 STVインタビュー

「地産地消」、「あさがお」は道民の合い言葉。STVテレビ「どさんこワイド」の女性レポーターも取材にやってきました。



5 加工品コーナー

所せましと並べられた加工品。江丹別カウ＆カーフのソフトクリームも大人気でした。



6 生花、精米コーナー

鮮やかな色と長持ち鮮度の生花たち。精米コーナーでは、あさがお米をその場で精米してくれます。



7 江丹別そば処穂の香

江丹別そば処「穂の香」にも、途切れることなくお客さんが訪れました。あさがおならやっぱり江丹別そば！



8 青果連コーナー

青果連コーナーでは、「鮮」ブランドが店頭に並んでいます。あさがおメロン「氷点レッド」もその一つです。



9 青年部・女性部、農高が応援に

青年部・女性部、旭川農業高校の皆さんが応援に駆けつけてくれました。皆さん、ご多忙中、本当にお疲れさまでした！

世 間で、アトピーの問題が注目され始めてきた平成2年頃、「これじゃまずい！」と思い、「農家だからできる、体に優しい無添加のしょう油を作りました」と近所の方々8名で一念発起したのが始まりです。毎日欠かさず口の中に入る、特にしょう油と味噌に力を注ぎました。

原料となる農産物は、すべて自分たちの手で栽培しています。だからこそ「安全・安心」を消費者の皆さんに自信を持って提供できます。最近では、しょう油、味噌と同じ原料の大豆で豆腐も作り始めました。毎



★ 手作りの “安全・安心” はいかが？

屯田の里
代表 目黒 芳子



連絡先: 旭川市永山町15丁目
TEL(自宅) 48-8681
TEL(工場) 48-1378

旭川市内の学校給食に「屯田味噌」を使ってもらうようになって、4年目になります。道内のスーパーには、「屯田しょう油」を出品しており、また、何といっても地元「あさがお」には毎日顔を出しています。毎日忙しく働いていますが、本業は主婦ですので時間調整が難しく、現在は会員3名と少なくりましたが、パートさん2名をお願いして頑張っています。(若い後継者も育てなければなりませんので…)

自分で作付した作物を、自信をもって販売できる商品にしたい。

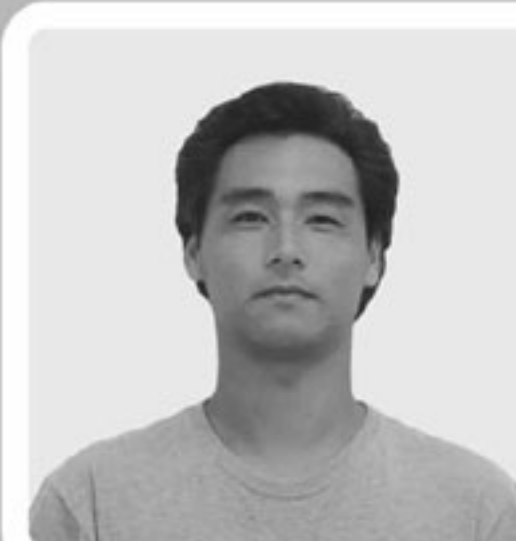


今野 雅義さん

(永山地区)

- 1 昭和46年7月10日
- 2 父、母、妻、子1人、祖母
- 3 パソコン、インターネット
- 4 平成16年から
- 5 水稲、畑作
- 6 将来的には法人化も視野に入れ、面積の拡大と効率的な作業体系を図りたい。
- 7 自分で作付した作物を、自信をもって販売できるような商品にしていきたい。
- 8 農家と農協がもっと密接になり、何でも相談できて、すぐ返答してもらえるものにして欲しい。また、インターネットを活用して、もっと多くの消費者にアピールしてはどうか。

消費者が持つ、農業に対するマイナスなイメージをプラスに変えたい。



山岸 和実さん

(神居地区)

- 1 昭和48年4月19日
- 2 母、弟
- 3 コンビニまでのドライブ
- 4 平成8年から
- 5 水稲、野菜複合
- 6 規模拡大・区画整備・能率向上のため、機械化による労働力削減
- 7 消費者が持つ、農業に対するマイナスイメージをプラスに変えて行きたい。
- 8 販売促進のため、消費者へのアピールを検討して欲しい。
- 9 虫を見てもキラーと言わない女性

質問事項

- 1 生年月日 ●2 家族構成 ●3 趣味 ●4 農業開始時期 ●5 現在の農業経営スタイル ●6 目標(理想)とする経営スタイル
- 7 農業に対する抱負 ●8 農協に対する希望や要望 ●9 独身者は、理想の女性像

アライグマの特徴

タヌキと非常によく似ているが、眉間や尾の縞、5本指の足跡などでその違いを見分けることができる。



タヌキ アライグマ



5本指の足跡が明瞭に残る
(タヌキは4本指で犬の足跡に類似)
5本指の足と縞々の尾

アライグマの生態

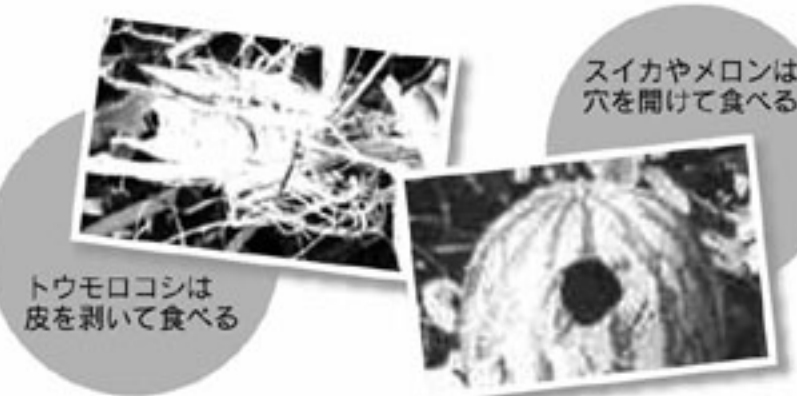
夜行性で森林や湿地帯から市街地まで多様な環境に生息（水辺を好む）。

春頃に平均3～4頭の子を出産（妊娠期間約2か月）。繁殖力が旺盛。

本来の繁殖地の樹洞等と似た環境の民家の天井裏で出産・子育てを行うことがある。

農作物への被害

トウモロコシ、メロン、スイカ、イチゴ、水稻など。



スイカやメロンは
穴を開けて食べる

トウモロコシは
皮を剥いて食べる

アライグマ情報のご連絡先

アライグマと思われる足跡や農業被害があった場合は、すぐに下記までご連絡ください。

【連絡先】 営農企画課
電話：37-8855 FAX：31-5377

この顔見たらご用心！
アライグマの
農業被害防止
について



【写真出典】 北海道環境局自然環境課ホームページ
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/allen/araiguma/araiguma_top

強まる国際規制にも対応できる農業の確立を目指す

品目横断的経営安定 対策の概要を知ろう!!



交付金の種類と内容

1 生産条件不利補正交付金（外国との生産条件の格差から生ずる不利を補正） （麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの4品目）

1：過去の生産実績に基づく交付金
期間平均生産面積に応じて交付する交付金

2：毎年の生産量・品質に基づく交付金
毎年度の品質及び生産量に応じて交付する交付金

■算定手順（対象農産物ごとに算定）

1. 対象者は、定められた時期までに基準期間（16～18年）の生産量（旧麦作経営安定資金などの支援対象数量）を農政事務所に登録
2. 農政事務所は、これを面積換算し「期間平均生産面積」を計算。市町村別に国が定める「面積単価」に「期間平均生産面積」を掛けて交付金を算定

「面積単価」 単位/10a

	春小麦	秋小麦	大豆
旭川市	9,008	16,658	19,732
鷹栖町	9,723	11,225	19,034

■算定手順（対象農産物ごとに算定）

1. 対象農業者は、定められた時期までにその年の「品質区分別の生産量」（麦のは種前契約に基づき販売された数量など）を農政事務所に登録
2. 農政事務所は、全国一律で国が定める「品質区分別の数量単価」に「品質区分別の生産量」を掛けて交付金を算定

「品質区分別の数量単価」（例）

小麦2,110円/60kg（Aランク・1等）
大豆2,736円/60kg（2等）
てん菜2,150円/トン（糖度17.1度）
でん粉原料用ばれいしょ3,650円/トン
（でん粉含有率17.4%）

2 収入減少影響緩和交付金（収入が減少したとき、その9割を補てん） （米穀、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの5品目）

■積立金の積立て

- 1 対象農業者は、定められた時期までに積立てを行う旨及びその年の「生産予定面積」を提出。10aあたり「標準的収入額（4で計算）」に「生産予定面積」を掛けその2.25%を積立金として納付

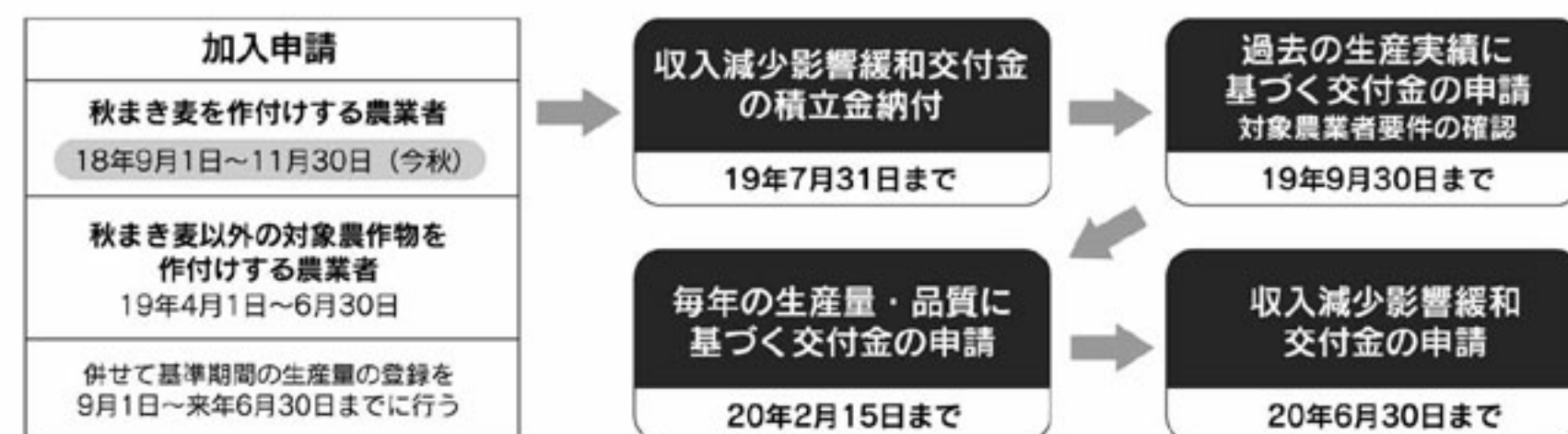
■算定手順（経営体ごとに合算して算定）

- 2 対象農業者は、前年度の「販売数量」を農政事務所に登録

- 3 農政事務所は、これを北海道の実績単収（※）で割って「前年度生産面積」を計算（※地域などの区分けは北海道庁、農業団体等が検討中）。平均入札価格等に実単収を掛けて算出した前年度「10aあたり収入額」に「前年度生産面積」をかけて「前年度収入額」を計算。

- 4 過去5年間のうち中3か年の収入額を平均した「標準的収入額」と「前年度収入額」の差額の9割から共済金相当額を算出した上で0.75を乗じて国の交付金額を算定（国の交付金額：農業者の積立金払戻額=3：1）

交付金の申請スケジュール





**女性部一日研修会で
アグネス・チャンさん講演**

6月30日(金)、各支所女性部総勢176名が参加して合同の一日研修会が開催された。午前中は、旭川市民文化会館で「アグネス・チャン」さんによる講演。「家庭と仕事と子供」という演題で、男女平等といわれる昨今でも、男尊女卑的な扱いをうけたという友人の話を交えながら、「ボランティア活動で訪れたアジアやアフリカの国々では、まだ幼い子供たちが人身売買されていて、とてもやりきれない気持ちになった。日本は平和な国であると思いましたが」と自らの体験を巧みな話術と素敵な日本語で1時間30分にわたって語られた。

午後は、上富良野で昼食を済ませ、温泉と観光の2コースに分かれて、お湯に浸かってリラクゼーションする人、好天に恵まれたキレイな景色を眺めてリフレッシュする人、それぞれで楽しい時間を過ごした。

**青年部が帯広方面に
一泊視察研修会を開催**

7月13日(木)から14日(金)の2日間、青年部は、部員28名の参加により帯広方面に向けて一泊視察研修会を開催した。

1日目は、芽室町にある「農業研究センター」を視察。センターでは麦・そば・馬鈴薯の栽培試験を行っており、様々な消費者ニーズに答えられるよう研究していた。

2日目は、帯広市愛国町で4年に一度開催される「国際農業機械展」を視察。参加者は、各農機メーカーの見たこともない大きな機械を目の前に感嘆していた。

今回の研修は農繁期であったが、部員はひとときの憩いと英気を養い、大変有意義なものとなった。



新採用 職員紹介

よろしく
お願いします!

- ①生年月日 ②出身地 ③最終学歴
④趣味 ⑤JA職員として一言



旭川中央金融支所貯金共済課係
ハラ マリコ
原 麻里子

- ① 昭和61年10月25日
② 旭川市
③ 北海道旭川商業高等学校
④ 音楽鑑賞・ソフトテニス

⑤ まだ入組して間もなく、毎日ご迷惑ばかりかけていますが、1日も早くJA職員として皆様の力になれるよう、日々勉強に励み頑張りたいと思います。



北野宮農センター購買課係
コハラ リョウタ
小原 綾太

- ① 昭和59年4月11日
② 網走郡美幌町
③ 北海道旭川実業高等学校
④ 釣り

⑤ わからない事が多々あり、まだまだ未熟ですが、JA職員として力になれるように一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。



管理部総務課係
ゴトウ ナナ
後藤 奈々

- ① 昭和63年2月21日
② 旭川市
③ 北海道旭川商業高等学校
④ バレーボール

⑤ 入組したばかりでご迷惑をかけると思いますが、早く仕事に慣れて、皆様のお役に立てるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

米の販売推進 活動状況報告

平成18年産の作付が終了し、品種別の作付面積も確定し、米の拡販推進を目的に、産地訪問の受け入れと拡販活動を実施した。

産地訪問【6月26日】

【来訪者】妹尾商店、ホクレン釧路支店



当JAの取り組みについて案内をし、平成18年産の利用拡大をお願いした。(株)妹尾商店では、クリーン米ほしのゆめを店頭精米販売しており、お客さんからの評価も高く販売も順調、さらにYESクリーン米の取扱いを検討したいという要望があった。後日、ホクレン釧路支店から平成18年産の購入希望があり、(株)妹尾商店がYESクリーン米ほしのゆめ30トン、(株)こめしんがクリーン米ほしのゆめ60トンとの連絡をいただいた。

産地訪問【7月12日】

【来訪者】ホクレン本所パールライス

ホクレン本所パールライスでは、高品質米の出荷率が高い生産地で、「安全・安心」の産地米を求めている。平成17年産米については2,500トンの契約であったが、平成18年産米は3,000トンの利用をしたいとの回答をいただいた。

産地訪問【7月14日】

【来訪者】丸紅、ダイエー

ダイエーのPB「蔵米」の中で「きらら397」の販売が順調で、全体の20%を占めているとのこと。「蔵米」のホームページを開設し、産地の見えるものを供給したいので、産地の情報提供をしてほしいとの要望を受けた。

産地訪問【7月20日】

【来訪者】エフコープ

エフコープから新産直基準の説明をいただき、管理農家の考え方が示され、平成17年産米の栽培履歴の点検が行われた。JAあさひかわとしては、平成18年産米の供給は使用農家を限定した「スーパークリーン米」を手当てし、上川ライスターミナルの施設で調整されたフレコンで対応することを伝えた。生協の理事の方も「使用農家を限定した物の方が組合員に「安全・安心」が伝えられる」と理解を示された。

第4班推進活動【7月6～8日】

【訪問先】福岡エフコープ 【参加者】ホクレン荒島課長、大橋課長

福岡エフコープでは、平成17年産のクリーン米「きらら397」408トンに対し産地指定をいただいている。消費者評価は、クレームも無く良い状況とのこと。販売額の8割が協同購入で、取扱い銘柄の中でヒノヒカリの次に「きらら397」が売れており、9月下旬には新米手当てしたい。



ご 米等の廃棄物を野外で焼却することは、法律で禁止されています。ただし、農業、林業を営むためにやむを得ないものとして、農業者が行う稲わらの焼却や林業者が行う伐採した枝葉の焼却が禁止の例外として解説されているが、これらも周辺地域の生活環境に影響を与える場合は、焼却禁止となるので注意が必要です。さらに、皆さんの庭先の雑草や剪定枝、また、家庭ごみの野焼きも禁止に該当します。特に、塩化ビニールなどのプラスチック類はダイオキシン類などの有害物質発生の原因となり、人の健康を害する恐れがあるので絶対に燃やさないで下さい。これらに違反すると罰則の対象となるので、充分気をつけるようお願い致します。



神居

6月上旬から播種作業が行われていたそばが、一斉に開花時期を迎えた。昨年は、干ばつの影響もあり収量が思わしくない年であったが、今年は、良い天気が続いたうえ、そばにとって適度な降雨もあり、順調な作柄が期待されている。

神居地区におけるそばの作付け農家は約70戸、作付面積は130haを超えている。江丹別地区では80戸、400haで、年々作付面積が拡大している。

そばは、非常に栄養価の高い穀物で、タンパク質やビタミン、繊維質が豊富に含まれており、高血圧予防やダイエットに効果がある



▲天候に恵まれ、一斉に開花時期を迎えたそば畑

そばの花が一斉に開花

9月上旬の収穫に期待つもの

とされ、健康食品としてもその優秀さが認められている。今後の天候にも左右されるが、9月上旬には順次収穫され、10月には新そばが一目見えすることになる予定。



▲天候に不安を抱えながらも、4日間を満喫した



満足げな表情で ナイスショット!

神楽年金同友会が温泉湯治

神楽年金同友会（会長・森山茂、会員286名）は、7月11日（火）から3泊4日の日程で、十勝川温泉国際ホテル筒井において、参加者62名で今年度2回目の温泉湯治を実施した。11日の夕方から十勝方面は雨となり、翌日実施予定の「パークゴルフ大会」は中止かと心配もされたが、当日は午前中に雨も上がり、午後からの大会は無事に実施することができた。

整備されたグリーン上では好プレーが続出し、大会参加者27名全員が満足気な表情であった。また、ゲートボール、カラオケ、マージャンなど多彩なプログラムが用意され、参加者は4日間の時間をフルに活用し、温泉湯治を満喫した。車窓からの眺めは行きも帰りも素晴らしい、参加者は時節がら美しく咲き誇る花々を存分に楽しんでいった。

▼和気あいあいとプレーしたパークゴルフ参加者



中央

パークランド嵐山で 恒例パークゴルフ大会 近文クローバー友の会が開催



近文クローバー友の会（会長・内澤善信、会員数82名）は、7月20日（木）、パークランド嵐山で恒例のパークゴルフ大会を開催した。本来、8月に開催していたが、今年は旭川中央地区による対抗パークゴルフ大会が8月に予定されている事もあって繰り上げでの実施となった。大会は天候にも恵まれ、随所に好プレーや珍プレーを披露し、あちこちで大きな歓声が上がり大いに盛り上がった。大会というよりも、お互い和気あいあいと楽しそうにプレーしている姿が非常に印象的であった。優勝は、高瀬次男・邦子さんご夫妻。今度は、3地区対抗パークゴルフ大会で優勝し、納め会でまた盛り上がりたところ。



北野

▼ジンギスカンを食べながら
明るくなるまで歓談した



中国農業研修生を 交え盛り上がる 女性部恒例のパークゴルフ 大会、懇親会を開催



7月14日（金）、女性部恒例の「パークゴルフ大会」が北野軽スポーツ公園で開催された。今年は、中国農業研修生も交え

ての大会となった。パークゴルフ初体験の研修生たちは、最初のうちは言葉も通じず四苦八苦していたが、ゲーム中盤には徐々に慣れてスコアも上昇し、楽しそうにプレイに集中していた。ゲームの結果発表をしながらの懇親会では、自分の順位に一喜一憂したり、研修生とジンギスカンを食べながら暗くなるまで楽しく歓談して過ごし、そして再会を約束して終了した。

第10回理事会

平成18年6月30日(金)

●協議事項

1. 理事の報酬の配分について
2. 信用事業方法書の一部変更について
3. 固定資産の取得について
4. 第5回JAあさひかわ農業まつりの開催について

●報告事項

1. 平成18年度中間報告監査の日程について
2. 平成18年5月末事業実績(子会社含む)について
3. 地区内営農状況について
4. 平成18年度米売渡契約、出荷契約金の支払及び平成15年産加工米の追加精算について
5. 品目横断的経営安定対策について
6. 江丹別・豊岡給油所について
7. 「JAあさひかわクッキングフェスタ」開催について
8. 要領の制定について
9. 人事異動について
10. JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」について
11. 有価証券の取得について
12. 第24回JA全国大会議案・組織討議意見報告について

第11回理事会

平成18年7月28日(金)

●協議事項

1. 大口貸付について
2. 平成18年度農地の時価評価額について
3. 規程類の全面変更及び一部変更について

●報告事項

1. 平成18年6月末事業実績(子会社含む)について
2. 地区内営農状況について
3. 平成17年度北海道米(うるち米)啓蒙普及事業報告について
4. スタンド・配送センター解体、撤去について
5. 臨時監査の実施報告について
6. 内部監査の実施報告について
7. 農家経営対策の取組みについて
8. JAあさひかわグリーン・ツーリズム資金要項について
9. 第5回JAあさひかわ農業まつりについて
10. 人事異動について
11. 平成19年度職員採用計画について
12. 有価証券の取得について

職員人事

■採用 ————— よろしくお願ひします

- 6/20 準職員 千葉 栄子 江丹別そば処 穂の香
6/21 準職員 小林 智子 江丹別そば処 穂の香
9/1 準職員 麦島 馨 管理部総務課係
(定年退職者再雇用)

■退職 ————— お世話になりました

- 7/31 審査役 堂前 聡 旭川中央金融支所長
7/31 係 渡部 百恵 経済部営農販売課経理担当係
7/31 係 瀬川 由美 緑が丘金融支所係
7/31 準職員 佐藤 亮 永山給油所係
7/31 準職員 鬼柳 臣志 北野給油所係
8/31 係 麦島 馨 管理部総務課係

■異動

- 8/1 審査役 広瀬 利正 旭川中央金融支所長
8/1 推進役 武田 吉陽 旭川中央金融支所融資相談課長
8/1 推進役 北 秀文 緑が丘金融支所長
8/1 推進役 川辺 豊 旭正営農センター購買課農業構造改善センター推進役
8/1 調査役 栗沢 貞光 緑が丘金融支所調査役
8/1 調査役 深瀬 久根 Aコープ北野店長
8/1 主査 滝野 良三 経済部営農販売課倉庫担当消費老契約米担当主査
8/1 係 小原 綾太 北野営農センター購買課係
8/1 準職員 堀田 浩 Aコープ北野店係

- 旧役職
旭川中央金融支所融資相談課長
緑が丘金融支所長
緑が丘金融支所調査役
Aコープ北野店長
旭川中央金融支所貯金共済課調査役
北野営農センター購買課主査
Aコープ北野店主査
経済部営農販売課営農渉外専任(米担当)係
旭正営農センター購買課農業構造改善センター係

おくやみ

おくりし上げます。

- 6/6 砂田 ハナヨさん 旭正地区旭正12
6/7 崎崎 春男さん 永山地区13区5組
6/14 後藤 武雄さん 永山地区その他
6/17 河田 キクさん 神居地区上雨粉2
6/19 西谷 恵美子さん 神居地区西里
6/24 横田 春見さん 永山地区その他
6/29 戸屋 一夫さん 神居地区雨粉1
7/2 奥野 弘さん 旭正地区その他
7/4 岩村 コトさん 旭川中央地区牛朱別
7/8 戸田 義美さん 神居地区西丘 元役員
7/10 袋 しげ子さん 永山地区その他
7/11 阿部 スミ子さん 旭川中央地区西御料地8区
7/16 宮崎 堅三さん 旭川中央地区旭正いぶき
7/22 堀田 シズさん 旭正地区旭正いぶき 元役員
7/24 浅田 豊秋さん 旭正地区旭正いぶき
7/28 鈴木 清三郎さん 旭川中央地区旭川北部(その他)
7/29 山田 ヤスノさん 旭川中央地区旭川北部8の3
7/31 藤沢 三代子さん 旭正地区旭東 (ともに正組合員)

JAあさひかわ

概要

(平成18年7月末実績)

組合員数	正組合員	2,708名
	准組合員	24,186名
	合 計	26,894名
出 資 金 残 高		1,918百万円
販 売 取 扱 高		1,221百万円
生産資材供給高		1,018百万円
給油所供給高		919百万円
生活供給高		208百万円
貯 金 残 高		91,587百万円
融 資 残 高		20,447百万円
長期共済保有高		2,298億円

国際農業機械展を合同で見学

稲作協議会・受託者協議会が合同視察研修会



▲水稲防除と転作物についての意見交換が行われた

旭正支所稲作協議会と受託者協議会は、7月12日(水)から13日(木)の2日間、会員34名が参加して愛別町の農事組合法人「伏古生産組合」と国際農業機械展の視察研修会を実施した。「伏古生産組合」では、大西組合長より設立から法人化に至るまでの経緯と経営内容の説明をいただき、意見交換を行った。会員からは水稲防除と転作物に

ついての質問があり、水稲防除はJA愛別との話し合いで基本防除は2回までとし、成分10ポイント以内で行い、粉剤農薬はドリフトを考慮して使用しない方針で決定した。さらに、クリーン農産物表示制度の登録認定を受け、今年の温湯消毒は100%取り組みが行われているとの答えがあった。JAあさひかわとしても、さらにクリーン米生産に努力しなければならぬことを再確認した。

帯広市の国際農業機械展は、4年に1回の展示会であることもあり、会員は熱心に会場を見学していた。

旭正

秋・春小麦、2度目の調整行う
永山ビーンズ組合で調整作業

昨年度より永山ビーンズ組合(代表・黄木繁)において、JAあさひかわ全地区の小麦調整を行うこととなり、今年、2度目の調整が行われた。

▼小麦の搬入作業は順調に行われた



北野地区は、町の施設があるため搬入はされないが、永山地区、旭正地区、江丹別地区の小麦が搬入されており、昨年度は、秋小麦で93・4ha、208・6トンと調整し、うち57・3トン(27・4%)が1等、春小麦は79・9ha、164・2トンと調整し、75・7トン(46・1%)が1等の結果になっていたが、今年度は、秋小麦72・5ha、春小麦88・4haの合計160・9haを調整する予定になっている。

調整作業は、昨年まで乾燥機6台、比重選1台で行っていたが、今年度よりライスグレーダーと石抜き機をラインに組み込むことになり、今後、さらに良質な小麦の生産を目指して調整を行う予定である。

永山